



2歳女児。熱
が出て熱の座薬
をもらいました。使用
法について教えてく
ださい。



小さい子ども
に薬を飲ませる
ことは大変です。その
ため、飲ませないで済
む座薬は、小児科では
重宝されています。
座薬として小児科で
使用されているのは、
熱を下げる解熱剤、け
いれん止め、吐き気止
めです。

発熱に対しては、飲
む解熱剤をすすめてい
ます。座薬の使用は原
則として、
飲めない
時、薬嫌い
の時のみで
す。

また、け
いれんの時
には、けい
れん止めの
座薬が使わ
れます。特に何回も熱で
けいれんを起こした場合

座薬・・・息を吸ったときに挿入

は、熱が上がった時に
予防的に座薬を使いま
す。

何回も続けて吐くと
きには、薬は飲めませ
るので、吐き気止め座
薬の使用となります。

座薬を使用するとき
には、先がとがってい
る方から肛門に挿入し
ます。時に、肛門の反射
ですぐに押し出される
ので、しばらく押さえ
ていて、出ないことを
確かめましょう。

息を吸った時に入れ
ると入れやすいでしょ
う。また、下痢のある時
は、座薬は使わない方
がよいでしょ
う。

保存は冷蔵庫
に入れましょ
う。内容が分か
るようにしてく
ださい。

〈水戸市中丸
町の平野こど
もクリニック



子育て相談室

院長・平野岳毅